

# 主要作物の化学肥料（例）

# 秋まき小麦

越冬前の窒素吸収量は4kg/10a程度です。起生期以降は茎数や葉色を確認しながら追肥を行います。

銅欠乏症対策用に「銅(Cu)」入り銘柄が用意されています。

## 施肥標準

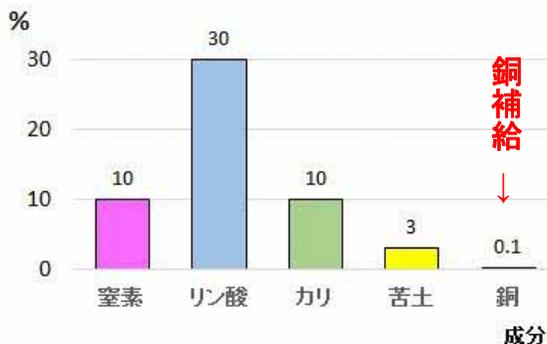
(kg/10a)

	窒素	リン酸	カリ	苦土
基肥	4	12	9	3
追肥	~14	(起生期・開花期・止葉期・開花期合計)		

北海道施肥標準2015 (十勝中央部、低地土、基準収量720kg)

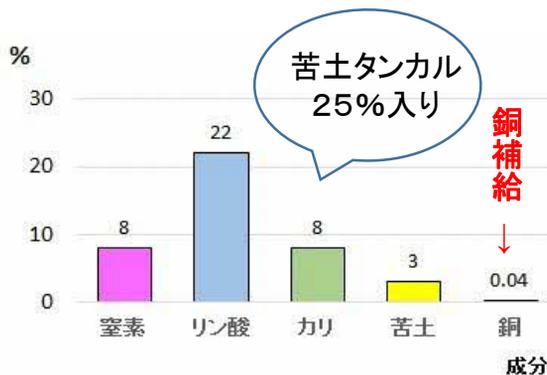
## 「銅(Cu)」入り銘柄 BBS131Cu

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土		銅	
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性
肥料成分	合計	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CCu	WCu
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CCu	WCu
成分率 (%)	10	10			30	30		14	10		10	3			0.10
1袋中の成分量 (kg/20kg)	2.0	2.0			6.0	6.0		2.8	2.0		2.0	0.6			0.02



## 「銅(Cu)」「カルシウム(Ca)」入り BB828Ca

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土		銅	
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性
肥料成分	合計	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CCu	WCu
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CCu	WCu
成分率 (%)	8	8			22	22		14	8		8	3			0.04
1袋中の成分量 (kg/20kg)	1.6	1.6			4.4	4.4		2.8	1.6		1.6	0.6			0.008



# 主要作物の化学肥料（例）

# 豆類

豆類は根に根粒菌が共生し、空中窒素を利用します。このため、豆類の肥料は他作物に比べて窒素の割合が少ないのが特徴です。

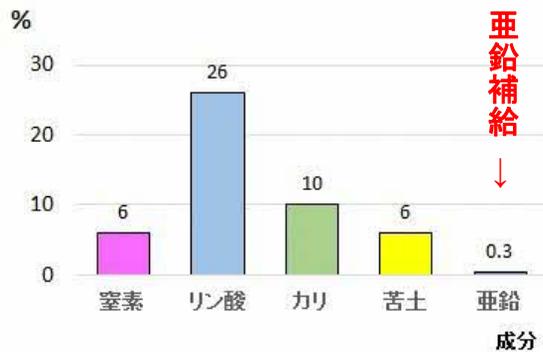
窒素固定量は、大豆>小豆>菜豆の順に多く、大豆用には地力が高い場合を想定した「無窒素」銘柄も用意されています。

施肥標準（大豆）					(kg/10a)
	窒素	リン酸	カリ	苦土	
基肥	1.5	13	8	3	
追肥	5	開花始め頃 根粒菌の活性が劣るほ場			

北海道施肥標準2015  
(網走・十勝、低地土、基準収量240~320kg/10a)

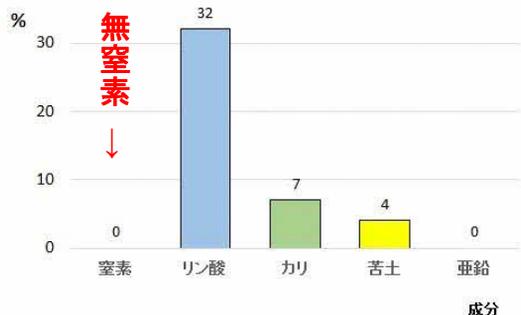
## 「亜鉛(Zn)」入り銘柄 BBS. 660Zn（小豆の亜鉛欠乏対策に）

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土		亜鉛		
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号		TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CZn	WZn
成分率(%)		6	6			26	26		14	10		10	6	3		0.3
1袋中の成分量(kg/20kg)		1.2	1.2			5.2	5.2		2.8	2.0		2.0	1.2	0.6		0.06



## 「無窒素」銘柄 S. PK27（肥沃なほ場での大豆栽培に）

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土		亜鉛		
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号		TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CZn	WZn
成分率(%)						32	32		14	7		7	4			
1袋中の成分量(kg/20kg)						6.4	6.4		2.8	1.4		1.4	0.8			



# 主要作物の化学肥料（例）

# てんさい

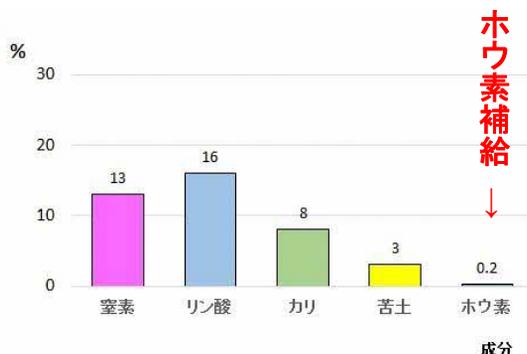
生育期間が長く、他の畑作物より窒素の必要量が多い作物です。  
 微量元素ではほう素が欠乏しやすいので、ほう素入りの肥料が多いです。  
 移植栽培と直播栽培で、リン酸の施肥標準が異なる点に注意しましょう。

施肥標準		(kg/10a)				
		窒素	リン酸	カリ	苦土	ほう素
移植		16	10	14	3	0.3
直播		16	20	14	3	0.3

北海道施肥標準2015 (全道、低地土、基準収6000~7000kg)

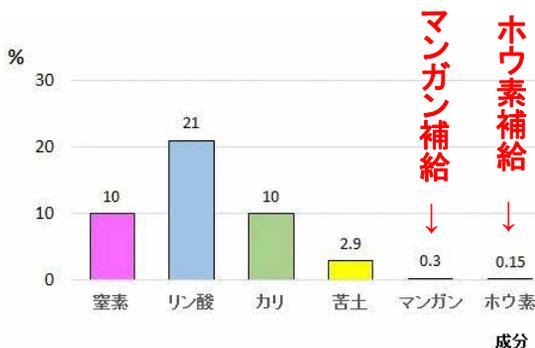
## 「ほう素(B)」入り銘柄 BBS368

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土		ほう素		
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	Mg	CB	WB
記号		13	9	2		16	16		8	8		3		0.2		
成分率 (%)		13	9	2		16	16		8	8		3		0.2		
1袋中の成分量 (kg/20kg)		2.6	1.8	0.4		3.2	3.2		1.6	1.6		0.6		0.04		



## 「マンガン(Mn)」「ほう素(B)」入り銘柄 BBS010T

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土		マンガン	ほう素	
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	ク溶性
肥料成分	合計	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	Mg	Zn	B
記号		10	6.5	3.5		21	21		14	10		10	2.9	0.3	0.15	
成分率 (%)		10	6.5	3.5		21	21		14	10		10	2.9	0.3	0.15	
1袋中の成分量 (kg/20kg)		2.0	1.3	0.7		4.2	4.2		2.8	2.0		2.0	0.6	0.06	0.03	



# 主要作物の化学肥料（例）

# ばれいしょ

澱原馬鈴しょと生食用馬鈴しょでは生育期間と基準収量が異なるため、必要な窒素施肥量も異なります。

また、馬鈴しょの初期生育は種いもの養分によってまかなわれるので、他作物に比べて窒素量が少なくなっています。

## 施肥標準 (kg/10a)

	窒素	リン酸	カリ	苦土
澱原	7	14	11	3
生食用	5	14	11	3

北海道施肥標準2015(十勝・釧路、低地土、  
基準収量 3700~4200(澱原)、3400~3600kg(生食用))

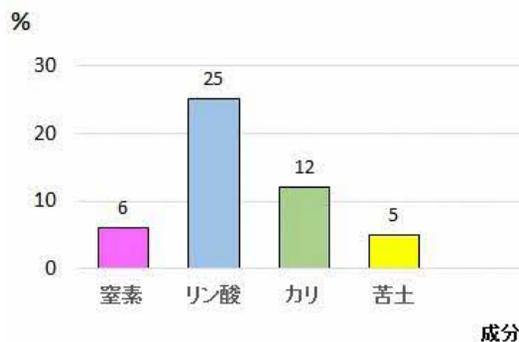
## 「コナフブキ(澱原馬鈴しょ)」に S. 804

項目 \ 成分	窒素			リン酸				カリ			苦土				
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率 (%)	8	6.5	1.5		20	20		14	14		14	5			
1袋中の成分量 (kg/20kg)	1.6	1.3	0.3		4.0	4.0		2.8	2.8		2.8	1.0			



## 早生の「男しゃくいも」に BBS.652

項目 \ 成分	窒素			リン酸				カリ			苦土				
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率 (%)	6	4.5	1.5		25	25		20	12		12	5	4.9		
1袋中の成分量 (kg/20kg)	1.2	0.9	0.3		5.0	5.0		4.0	2.4		2.4	1.0	1.0		



# 主要作物の化学肥料（例）

# 野菜（基肥用）

作物の生長の早さに対応して、硝酸態窒素を配合したものが多く、露地野菜では、各種肥効調節処理により窒素溶出を緩やかにして追肥の手間を省いたものも使われます。硝化抑制剤(Dd)は硝酸化成菌を抑制し窒素の分解を遅らせるものです(10p参照)。

施肥標準(たまねぎ)					(kg/10a)
	窒素	リン酸	カリ	苦土	
基肥	15	15	15		
北海道施肥標準2015					(十勝中央部、低地土、基準収量 5500kg)

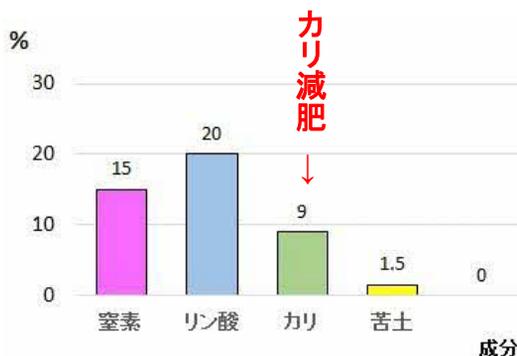
## 野菜肥料(基肥) S121

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土			
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	
記号		TN	AN	NN	TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率(%)		10	8.5	1.5	20	20		14	10		10		3		
1袋中の成分量(kg/20kg)		2.0	1.7	0.3	4.0	4.0		2.8	2.0		2.0		0.6		



## 「硝化抑制剤入り肥効調節肥料・カリ減肥」 Dd S509

項目	成分	窒素			リン酸				カリ			苦土			
		合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	
記号		TN	AN	NN	TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率(%)		15	11.5	2.5	20	20		14	9		9		1.5		
1袋中の成分量(kg/20kg)		3.0	2.3	0.5	4.0	4.0		2.8	1.8		1.8		0.3		



追肥用の肥料には窒素とカリが多く含まれていて、リン酸はあまり含まれていません。リン酸には土の中を移動する性質がなく、追肥の効果が低いためです。（5p参照）

施肥反応の早い硝酸態窒素を配合したものが多く、特に硝酸カリを原料にして窒素成分のおよお半分が硝酸態窒素のものには「NS」の記号が付きます（7p参照）。

「NS」記号の肥料は、生長が早いので短期間で窒素を吸収させたい葉菜類（ほうれん草、はくさい等）によく使われています。

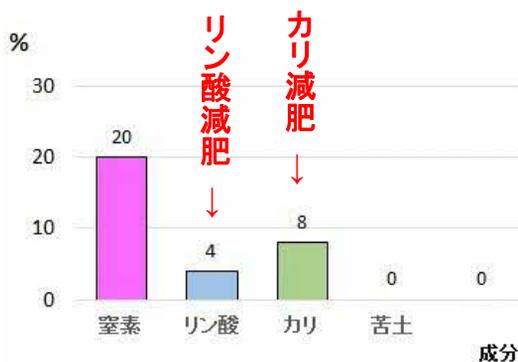
## 野菜肥料(追肥) S444

項目 \ 成分	窒素			リン酸				カリ			苦土				
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率 (%)	14	8	6		4	4		14	14		14	5			
1袋中の成分量 (kg/20kg)	2.8	1.6	1.2		0.8	0.8		2.8	2.8		2.8	1.0			



## 「野菜肥料(リン酸カリ減肥)」 NS248

項目 \ 成分	窒素			リン酸				カリ			苦土				
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率 (%)	20	10.5	9.5		4	4		14	8		8				
1袋中の成分量 (kg/20kg)	4.0	2.1	1.9		0.8	0.8		2.8	1.6		1.6				



# 主要作物の化学肥料（例）サイレージ用とうもろこし

飼料用とうもろこしは生育の後半まで肥料成分をよく吸収する作物です。堆肥などの有機物とあわせて、不足なく施肥することが重要です。

亜鉛欠乏に対応した銘柄も用意されています。

施肥標準 (kg/10a)				
	窒素	リン酸	カリ	苦土
基肥	16	18	10	
北海道施肥標準2015 (十勝、低地土、基準収量 6000kg)				

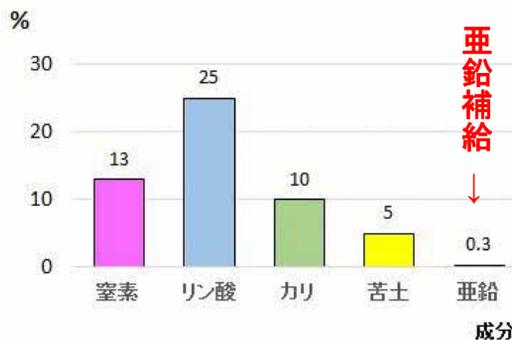
## BBS380

項目	窒素				リン酸				カリ			苦土			
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率 (%)	13	10			18	18		14	10		10	4	3		
1袋中の成分量 (kg/20kg)	2.6	2.0			3.6	3.6		2.8	2.0		2.0	0.8	0.6		



## 「亜鉛(Zn)」入り銘柄 BBS. 350Zn

項目	窒素				リン酸				カリ			苦土		亜鉛	
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	CZn	WZn
成分率 (%)	13	10			25	25		14	10		10	5		0.3	
1袋中の成分量 (kg/20kg)	2.6	2.0			5.0	5.0		2.8	2.0		2.0	1.0		0.06	



# 主要作物の化学肥料（例） 牧草

マメ科牧草の割合が高い草地は、マメ科草(根粒菌と共生)からの養分供給により施肥窒素が少なく済みます。このような草地には窒素成分が低い肥料があります。

マメ科率の低い草地やチモシー単播草地では、施肥窒素を多く必要とするため、窒素分が高い銘柄もあります。

## 施肥標準 (チモシー採草地) (kg/10a)

	窒素	リン酸	カリ	苦土
早春	10.6	5.3	12	
1番草刈取後	5.4	2.7	6	

北海道施肥標準2015  
(十勝、低地土、マメ科区分4、基準収量 4500~5000kg)

## 「チモシー単播草地」 BB363 ※リン酸減肥タイプでもあります。

項目	窒素				リン酸				カリ			苦土			
	合計	アンモニア性	硝酸性	尿素	合計	ク溶性	可溶性	水溶性	合計	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性	ク溶性	水溶性
肥料成分															
記号	TN	AN	NN		TP	CP	SP	WP	TK	CK	WK	CMg	WMg	C	W
成分率 (%)	13	11			6	6		4	13		13	3			
1袋中の成分量 (kg/20kg)	2.6	2.2			1.2	1.2		0.8	2.6		2.6	0.6			

